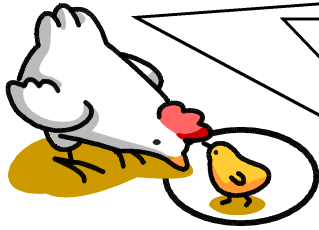


令和2年. 9. 18

八戸市立新井田小学校  
同 父母と教師の会



# 啐啄

N0.734

☎ 25-5125  
☎ 25-3150

## 「長月」を迎えて思うこと

校長 峯 明 紀



9月も半ばを過ぎました。例年ですと9月は、地域の運動会やハゼ釣り大会、地区の敬老会が開催され、子どもたちがそれぞれ地域の行事に参加して活躍してくれる月です。また、PTA主催のバザーが開催されるなど、保護者の皆様にとっても楽しみの多い月であったかと思えます。そして、10月開催の全校児童参加の新田城まつりに向けて、実行委員会の皆様も最後の追い込みの時期を迎えているはずでした。これらすべての行事が中止になってしまうとは、誰も予想すらできないことでした。保護者や地域の皆様にとっても、子どもたちにとっても本当に残念で悔しい気持ちであろうと推察申し上げます。

そのような中、6年生の修学旅行を予定通り8月30、31日の2日間で実施することができました。6年生の子どもたちにとっては日程を短縮した一泊二日の旅行になりましたが、それぞれの見学先や宿泊した旅館で、楽しい旅の思い出づくりができたのではないかと思います。

ただ一つ残念だったのは、遠野市の皆様との交流を果たせなかったことです。本来であれば、「あえりあ遠野」において、遠野市長様や市民づくり連携協議会会長様をお招きして、「出会いのつどい」を予定していたのです。そして、そこで6年生が準備してきたプレゼントを直接お渡しするはずでした。「つどい」の場をつくってくださった遠野市への方々へのお礼の言葉では、6年3組の漆戸みなみさんが、『新田城まつり』でつながってきた遠野と新井田の交流をつなげるお手伝いができる。」と伝えることになっていたのです。これも結果、新型コロナウイルス感染症のために中止となってしまいました。6年生が準備してくれたプレゼントは、メッセージDVDを添えて後日送らせていただきました。遠野市からも、記念品の河童の置物を送っていただきました。直接の出会いはありませんでしたが、子どもたちの気持ちは十分に伝えることができたのではないかと思います。

さて、いよいよ来月は、今年度唯一全校児童で取り組む「運動会」が予定されています。「学習発表会」が中止となっているので、6年生にとっては小学校最後の学校行事になります。保護者の皆様にも子どもたちの頑張る姿を見ていただきたい、声援していただきたいと思っています。例年とは異なる感染予防に考慮した形での開催になると思いますが、御理解・御協力をお願いいたします。

最後になりますが、コロナ禍の中でも「新井田っ子」一人一人が、今回の修学旅行のように、相手の気持ちやその場の状況を踏まえながら、自分の思いを形にできたら素晴らしいことだと思っています。以前も紹介しましたが、最後に大好きな相田みつをさんの詩を再度記載します。



セトモノとセトモノとぶつかりっこすると  
すぐこわれちゃう  
どっちかがやわらければだいじょうぶ  
やわらかいところをもちましよう

「やわらかいところ」で子どもたちの成長を見守っていただければ幸いです。



「啐啄」(そったく): 「啐」は卵がかえる時、殻の中で雛がつつく音、  
「いいたのたよい」 「啄」は母鶏が殻をかみ破ること。